

令和元年 12月 24日

おはようございます

今日は2学期の締めくくりの日です。

皆さんと一緒に2学期を振り返りながら、これからのことについて考えたいと思います。

まず、9月当初の文化祭。体育館の舞台での演劇、中庭でのダンスや演奏、各教室でのバザーや模擬店、自作映画、演奏、展示、研究発表など、各クラスやクラブの特長、各自の個性を發揮してくれました。

中でも、開会式では、生徒会と有志の皆さんが、企画と進行、そして、見事なパフォーマンスを披露してくれました。

生徒会の皆さんも日々の活動や地域行事への参加など、本当によく頑張ってくれました。

部活動においても、運動部文化部共に、それぞれの目標に向けて、朝早くから夕方遅くまで、一生懸命に取り組んでいました。

2年生は修学旅行、1年生は進路遠足といった行事活動もありました。

これらのように、2学期は、皆さんの創意工夫や表現力、主体性、協調性を發揮できる機会がたくさんありました。

そして、進路について考え、実現に向けて行動することが求められている時期でもあります。

自分の胸に手を当てて、精一杯力を出し切れたか、今一度振り返ってみてください。

私なりに皆さんの様子を見てきた中で、授業や行事、部活動や地域行事等にひたむきに取り組んでいる姿や仲間と共に楽しんでいる姿、個性が生かされた発表やパフォーマンスをたくさん見てきました。

さらに、文化祭や学校説明会等の行事の前後、人知れず準備や後片付け、清掃活動に取り組んでくれた生徒の皆さん、日々の生活の中で、早朝から掃除をしてくれているクラブの生徒の皆さん、みんなのために力を尽くしてくれている生徒会の皆さん、中庭の鯉のお世話をしてくれている「いきものがかり（鯉ガール）」の皆さんなど、多くの心ある生徒の皆さんの行動には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

こうして考えると、皆さんは確実に成長しているのだなと感じています。

一方、「できなかったこと」もあるのではないのでしょうか。

「できなかったこと」については、「努力をしたけれどもできなかった」のか、あるいは「やろうとしなかったため、やらなかったためにできなかった」のかどうかを区別して、整理しておくべきだと思います。

また、「やらなかったこと」や「できなかったこと」を、自分以外の「他のことや他人のせいにしていないか」ということも含め、しっかりと振り返ることが大切です。

そして、その反省を皆さんの今後の行動に生かしてもらいたいと思います。

続いて、皆さんのこれからに向けてのお話です。

今年、特にスポーツ界では世界的な大会がたくさんありました。

中でも、ラグビーのワールドカップについてはテレビ等で観戦した人も多いと思います。

その中で、皆さんに伝えておきたい言葉があります。

それは、10月13日、悲願の決勝トーナメントへの進出、ベスト8入りを懸けたスコットランド戦、その試合直前のロッカールームで、日本代表の主将、リーチ・マイケル選手が円陣を組んでいるチームに向けて発した言葉です。

それは「プライド・意志・ファイト」という三つの言葉です。

皆さんは、これらの言葉をどのように受けとめるでしょうか。

リーチ・マイケル選手がどのような思いで、その言葉を投げかけたのかは想像するばかりですが、それら三つの言葉を私なりの解釈で、今、進路の実現に向けて頑張っている皆さん、各自の目標に向かって努力を続けている皆さんへの激励の言葉としたいと思います。

「プライド」とは、自分勝手な独り善がりではなく、自分のため、チーム全体のために、悔いの無いように正々堂々と立ち向かうこと。

人の見ていない所での努力、苦しみを乗り越えてきたことを大切に、最後まで諦めることなく全力を尽くしてください。

「意志」とは、全ての行動の根源となるものだと思います。

様々な状況に応じて、的確な判断のもと、目標に向かってためらわずに突き進んでいく強い心を持ち続けてください。

「ファイト」とは、勇気をもって立ち向かっていくこと。

不安や焦りをはね返し、目標の達成、勝利をめざして、最後の最後まで力を出し切ってください。

「プライド」「意志」「ファイト」、これらの言葉を胸に、この冬休みを、悔いの無いものとし、新しい年につなげてほしいと思います。

最後に、風邪やインフルエンザ、そして怪我には充分気をつけてください。

令和2年1月8日の始業式で、明るく元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。

それでは、良い年を迎えてください。